指導事例集ｐ．６１

児童に見られるつまずき

　自分の考えを明確にしながら、場面のつながりを考えて文章を書くことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　出来事をつなぐときに使う言葉や書き出しの冒頭例を提示することで、場面のつながりを考えながら文章を書くことができるようにする

１　学年・単元名　　第２学年　絵を見てお話を作ろう

『絵を見てお話を作ろう』（書くこと）

２　単元目標

　　　絵から場面の様子を想像し、一つ一つの場面がつながるように物語を書く。

３　単元の内容

　　・場面がつながるように物語を書くという単元の見通しを持つ。

　　・絵から場面の様子や人物を想像し、書きたい内容を明らかにする。

　　・書き出しの文や出来事をつなぐ言葉を使って、場面がつながるように物語を書く。

資料：ワークシート

　　　記入済みワークシート

　　・物語を交流し合い、単元を振り返る。

資料：児童の成果物

４　本時の目標

　　想像したことをもとに、②の場面の書き出しを考えることができる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点と☆評価**太字：つまずきに対する手立て** |
| １．学習課題を確認する。お話を書くわざをつかえるようになろう。２．②の吹き出しを会話文に書き直す。　　・吹き出し　　　　↓　　・会話文３．②の書き出しを考える。４．学習のまとめをする。 | ・お話を書くためのポイントを知り、それを使ってお話を書く準備をすることを確認する。・前時に考えた②の吹き出しを出し合わせ、会話文につなげる。・大きな声で発表するよう支援する。・自分の考えと比べて聞くよう助言する。・①や③の場面につながらない会話文を提示し、場面につながりを持たせることの大切さに気づかせる。・かぎ（「」）の使い方を正しく理解できるよう、会話文の書き方を掲示する。・ワークシートに会話文を書かせる際、教師の書く会話文をプロジェクターに映して見せ、かぎや句読点の打ち方に気をつけるよう助言する。・①の場面とつながるような②の書き出しを考えるよう助言する。・Ｐ25の状況を説明している文は、①③の場面の文章の一文目と対応していることに気づかせ、②の書き出しを考えるよう助言する。**・出来事をつなぐときに使う言葉や書き出しの冒頭例を提示し、活用するよう促す。**ワークシート使用記入済みワークシート参照・書きにくい児童については、Ｐ25の②の説明している文を書き出しに使うよう、個別に支援する。☆想像したことをもとに、事柄の順序に沿って②の書き出しを考えている。・本時のお話を書く技をまとめる。・本時の学習を振り返らせる。・次時の予告をする。 |

６．つまずきの解消に向けて

（１）単元における予想されるつまずき

①本単元内のつまずき

　・想像したことから場面の様子や人物について考え、書くことを決めること。

　　・一つ一つの場面がつながるように物語を書くこと。

②これまでのつまずき

　　　・伝えたい事柄を決めること。

・事柄の順序に沿って文章を書くこと。

　　　・順序を表す言葉を用いて文と文とをつなげること。

（２）つまずき解消に向けた指導上の留意点

・物語を書くポイントを「お話を書くわざ」として提示し、場面の様子や人物などについて、自分の書きたい内容を決めさせる。

　　　・書き出しの例や出来事をつなぐ言葉を提示し、場面をつなげさせる。

　　　・グループでお話メモを交流し、自分の考えを明確にさせる。